

夕刊 警城時報

行發日六十
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金十圓
廣告料一行十四字計五十五錢
日刊(日曜祝祭日)至日休刊

水難救濟會支部役員會

きのふ四倉小學校に開催

帝國水難救濟會福島支部の第二、會員募集に關する件
回役員會は昨十五日午後一時より、優良所員及會員支部表彰に
り四倉小學校内に開催したが、
參集者七十余名にして定刻一時
縣警防課次席長山部部長の開會の
辭、一同皇居遙拜、戰死者に對
し一分間黙禱、支部長代理久和
警防課長の挨拶等あり指示事項
協議事項等を打合せた
◎指示事項
一、水難救濟會事業普及に關す
る件
二、救難所員の應召及戰病死者
報告に關する件
三、會員功績表彰に關する件
四、救難所員の異動に關する件
五、海上防空訓練に關する件
六、海上防空警報の統一に關
する件
七、航路標識の燈火管制に關
する件
八、空襲及敵艦船發見に關する
件
九、長谷川木匠二氏答辭を述べ、長
山部部長の閉會の辭にて午後四時
半盛會裡に散會した

坑木會社と共に 坑木商業組合

資本金五万圓で結成

警城、入山、古河、大日本四大同業に於ても同一目的のもとに
炭礦が東北坑木株式會社を設立縣内の營業を打つて一丸とする
し統制と公憤の体制に處應すべし坑木商業組合の創設を左記六氏
く既に店開きをされたことは屢の發端を以て計畫され縣商工課
報の如くであるが、縣下坑木商の指導を仰いで、同組合員は

内科・小兒科
菅波醫院
院長 菅波 茂
入院隨時 四倉町本町
電話六十三番
◎見習看護婦入用

第一位は相農校 濱通り中等學射擊

きのふ神谷村で舉行
濱通り中等學校射擊大會は十
五日午前十一時から神谷村東部
射擊場で舉行したが、結果次の
如く警中は第二位であつた
一七七点相馬農校、二一
五九点警中校、三二二点相馬青年學校校長に對する軍隊宿泊購

淺草の青春 (東京だより)

一頃、淺草のレヴュー・ガ
ールたちが容の求めに應じて
怪しからん行なひをやるやう
に噂を立てられたことがある
が、あんなことは絶対に嘘で
ある。誰かレヴュー・ガール
に恨みを持つてゐる者が復讐
のつもりであんな不快なデ
モをこぼしたものと見える
現に角、レヴュー・ガールと
いふ存在は知らないものがみ
たら驚ろくほど眞面目である
女房を持つたら下手なお嬢さ
ななのである。いちぢらしい限

荻洲中將來倉 戰病死者の墓參

習會は来る二十四日から二十七は縣警防課高山中佐同行主として
日まで三泊四日若松に於て催は 軍事作法を授講するなかに射擊
されるので平市から篠山校長、 訓練等もあるらしく各校長が軍
石城郡部から七名何れも二十三 隊生活を体験し生徒に對する指
日出發の筈であるが、同講習に 導の資となるものが多からう

秋の味覺の王座 サンマ解禁迫る

今年に安價で食はれる
解禁間近に迫つた秋の味覺のた
め石城各漁船は漁網の積込み
船具の手入れなど出漁準備を急
いでをり、江名、中の作港所屬
船が十五、六日頃、トツを切つ
て根據地がけの勇躍出帆する
のに續いて江名、小名濱、豊間
各港の漁船もそれ／＼出動豊漁
の先陣争ひをなす筈で濱は異常
な活氣に包まれてゐるが、今年
は初水揚げのいはゆる走りに對
し御祝儀相場が禁じられ百々三
尾内外二五錢と決つたので安
秋刀魚が食へるわけである

國勢調査 紀念スタンプ

平局では十月一日施行される國
勢調査を紀念するため紀念スタ
ンプ及び自動捺印機に標語を加
へる
◎西部青年團選士
▲劍道村木町村木保一、同長
▲相模町 古重運搬搬走部治
町吉田清治、古重治大谷一元
▲二千里團練走古重治山崎
佐輔、銀治町戸松祐一、古重
治大谷一元、走幅跳才越小路

石城地方の 馬鈴薯

いものは樂屋に這入ることが
出来なくなつてゐる。だから
彼女たちも比較的誘惑にかゝ
る機會が少ないわけだ。
僕の知つてゐる或るレヴュー
・ガールは、舞臺生活の收
入のないのに愛想をつかして
小屋を去り、喫茶ガールとな
つたが、結局好いことな
い、又今では關西の吉本の舞
臺で踊つてゐる。彼女などは
比較的樂屋の好い方で、下手
な人生を終りにしてしまふ馬鹿
な娘もある。かういふフワフ
ワした考へしか持つてない女
は全く救ひ難いのである。

神宮を目す 西部選手

平市聯合青年團では明治神宮出
場選手を豫選する爲め近く競
技會を開催する豫定であるが、
同競技會に出場する西部及び北
部兩青年團の選手は詮衡の結果
左記の如く決定した
◎西部青年團選士
▲劍道村木町村木保一、同長
▲相模町 古重運搬搬走部治
町吉田清治、古重治大谷一元
▲二千里團練走古重治山崎
佐輔、銀治町戸松祐一、古重
治大谷一元、走幅跳才越小路

鈴木仁、銀治町古市英雄、二
丁目中華、二百米(八百
織走)才越小路鈴木仁、紺屋
町松田誠、二丁目中華、紺屋
城山加藤高輝、銀治町古市英
雄、同猪狩孝夫、手榴彈距離
投久保町遠藤正、二丁目山家
重三、同星野喜四郎
◎北部青年團選士
▲劍道下平小野義典、同小林
兵郎、銃劍術三區鈴木喜平
上平草野源吾、同根本敏夫、
同阿部弘、重量運搬搬走上
平本常好、中平小野義平、
三區鈴木健二、下平長瀬健
一、二千里團練走下平鈴木
良吉、同木田勝喜、走山跳下
平渡邊正司、中平下野渡邊
正司、同木田勝喜、同吉野登
同鈴木良吉、手榴彈距離投上
平藤葉金治、下平木田勝重

商業界に開始された 商業報國運動

(八) 平廣告研究会 月報から

- 一、統制遵守の徹底に關する事項
- 二、統制に關する諸法令の認識徹底のために必要なる諸事項
- 三、統制價格遵守のために必要なる諸事項
- 四、現行諸法令の取捨防止のために必要なる諸事項
- 五、公正因循なる配給の徹底化のために必要なる諸事項
- 六、生産者並に消費者に對し統制遵守に協力せしむるために必要なる諸事項
- 七、商業機能の刷新に關する事項
- 八、商業組合機能の發揚に對する協力のために必要なる諸事項
- 九、業種業態別による商業機能の合理化刷新のために必要なる諸事項
- 一〇、企業合同の研究に實施に協力のために必要なる諸事項
- 一一、財務に關する合理化のために必要なる諸事項
- 一二、従業者の向上のために必要なる諸事項
- 一三、營業時間短縮のために必要なる諸事項
- 一四、國策代用品の宣傳販賣のために必要なる諸事項
- 一五、粗製品粗悪品の排撃のために必要なる諸事項
- 一六、啓蒙教育に關する事項
- 一七、時局認識の徹底のために必要なる諸事項
- 一八、新商業倫理の体得徹底のために必要なる諸事項
- 一九、商業者の當面する諸問題の理解と新策樹立のために必要なる諸事項
- 二〇、商業者の生活刷新に關する事項
- 二一、敬神崇祖の運動のために必要なる諸事項
- 二二、慈善遺族に對する後援の運動のために必要なる諸事項
- 二三、貯蓄奨励に消費節約の運動のために必要なる諸事項
- 二四、廢品回収運動のために必要なる諸事項

實用期節品

おなじみの大丸屋
商業報國

場所 平市紺屋町縣社前大通り
期間 九月十四日ヨリ毎日午後九時迄

吳服・洋品・雜貨類

大丸屋出張店

京東 大丸屋出張店
平市紺屋町

御料理

むぎとろ
さつき
平市紅小路 電話四八八

精神修養に...

御誂に既製品
電話三八六番

喜多流 白土會
「入會隨意」平市田町六九

氷の御用は

電話二二三番

魚問屋へ

鯉節製造販賣
(日本生命平代理店)
平市四丁目
志賀盛榮商店

内臓外科

整形外科 松村亨
レントゲン科
理學療法科

松村醫院

平市南町 電話一〇七

胃腸科 内臓外科
花柳病科 皮膚科
泌尿器科 泌尿器病科

耳鼻咽喉科

醫學博士 高柳博明
平市驛前 電話三三六

味の滋養に富み安價で便利な 國策に添ふ理想的調味料を 御愛用願ひます

天與の食品 印出しの素

滋養調味料

一、原料 本品は太平洋の新鮮なる魚を加工し之を乾燥機にて十二分に火力蒸乾製粉したもので化学的の調味料でなく天與の食品品であります。
一、特長 本品は最も安價にして少量で即座にタンが良く出て滋養に富み御便利です。かつ経済上にも体位向上にも總てに適當な食品です。
一、用法 味噌汁には水一升量に付約三勺、味噌汁には米一升に付約五勺、野菜色々の味噌汁には十人前も付約四勺、又温い御飯、漬物等に振りかけて召上下さい。其の他總ての味付けに御使用願ひます。
一、分量は標準です。味付けの好みにより御減下下さい。大量炊事の場合は約半分で充分です。
一、保存 濕氣を帯びないやう罐等に入れ置いて美味しく召上つて下さい。
一、注意 他に類似品がありますから商標に御注意 印を御愛用願ひます。

特約店 武子屋 伊藤商店 小名濱町
四倉町 商店 大浦村信用組合
福島縣 四倉港

製造 販賣元 今井商店
電話 東京一三六三〇番
四倉局私電四三三號

宮城縣 釜ヶ崎町 藥港
電話 二五八番
今井商店 釜ヶ崎出張所

北川外科

醫學博士 北川芳夫
平市新川町 電話四六四

内臓外科
レントゲン科
晝夜診療
入院隨時

江尻醫院

醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一

花柳病科 皮膚科
泌尿器科 泌尿器病科

診療 午前八時より
午後九時まで
時間 午後九時まで
(入院隨意)

とんかつ 専門の店

御ひいきをお願致します
午前十一時より午後十一時まで
平市仲田町
かの家
電話四六五番
(出前迅速)